

2010年11月 ひがしおんな 東恩納 たくま 琢磨 名護市議会議員活動報告

# たくま便り

〒905-2266 名護市瀬嵩 47 番地

TEL 0980-55-8587

東恩納琢磨後援会発行

## 9月の市議会議員選挙の報告とお礼

9月12日に行われた名護市議会議員選挙で、東恩納琢磨は1,059票を獲得して再選いたしました。選挙期間中、東海岸側からの立候補者の中で唯一基地反対を訴えていた私をどうしても当選させたいと、たくさんの方が応援に加わって下さいました。そのかいあって前回よりも多くの票を獲得し、当選する



ことができました。支えてくださった多くの方々に心からお礼申し上げます。

私は議員として、基地に頼らない地域おこしを最も重要な課題ととらえています。そのための財源づくりとして、名護市の豊かな自然を生かした新しい仕事と、農業と観光を結びつけた新たな産業

をつくっていくために、地域と行政の架け橋となつてがんばっていこうと思っています。また名護市を広くアピールするために、地域の良さを掘り起こし「名護ブランド」を生み出し、そして東海岸にジュゴンとアオサンゴの保護区を作ることを進めていきます。もちろん、稲嶺進名護市長を支え、市長とともに新基地建設計画の白紙撤回を求めていきます。

課題は山積みですが、今、名護市に大きな希望を感じています。市民と行政が知恵を出し合い、自分たちの手で、魅力ある名護市を作ることができる時が、やっと来たと感じています。名護市民の皆さん、次の世代に希望のある未来を手渡すために一緒にがんばりましょう。



# 市政・市議会の変化

稲嶺進市長になってまだ数ヶ月ですが、すでに多くの改善がなされました。

- 基地アドバイザーの廃止と副市長を二人から一人にすることによる無駄な予算の削減
- 入札制度の改革
- 市長自ら市民との対話をする「お出かけ市長室」の実施
- 子どもゆめ基金の設立

などです。

そして9月の選挙を経て、市議会は稲嶺市長を支える議員が多数派となり、市長とともに新基地建設反対の民意を十分に反映させることが可能となりました。

10月議会では「**米軍普天間飛行場「県内移設の日米合意」の撤回を求める決議**」が可決されました。1999年に、市議会が住民投票の結果を無視して普天間受け入れを可決するのを傍聴席で悔しい思いで見ている私は、今回の普天間移設反対決議を議員として可決することができ、感無量でした。やっと民意と議会が一致した、名護市民にとって歴史的な出来事でした。

そして、「**米海兵隊・垂直離着陸機MV 22 オスプレイの沖縄配備計画の撤回を求める決議**」「**生物多様性の保全に関する決議**」の二つも同時に可決されました。

「**生物多様性の保全に関する決議**」は10月に生物多様性条約締約国会議 COP 10が名古屋で開かれていたことを受けて、私が発案し、16人の議員とともに決議案を提出、全会一致で可決されました。

(そのCOP10では、世界的目標として、今後世界の海洋保護区を、現在の10倍に広げていくという、「愛知ターゲット」が

採択されました。ジュゴンとアオサンゴの保護区をつくることは世界目標にも沿うかたちとなり、名護市をアピールする絶好のチャンスの到来です！)



辺野古・大浦湾の生物多様性の保全を求める「生物多様性の保全に関する決議」を提案する東恩納琢磨

※決議文全文は別紙にあります。

# ホップ！ステップ！ジャンプ！ 伊波洋一沖縄県知事を誕生させましょう！

来る11月28日は沖縄県知事選です。

今回は前宜野湾市長の伊波洋一氏（58）と現職の仲井真弘多氏（71）、による事実上の一騎打ちとなる模様です。

伊波洋一氏は宜野湾市長として、普天間基地の即時撤退を求めつつ、一貫して辺野古への移設に反対してきました。「同じ苦しみを沖縄県民に味あわせてはいけない」という伊波氏の信念は、移設受け入れに反対してきた私たち名護市民を支え続けてくれました。



伊波洋一オフィシャルホームページより

「普天間基地を早く閉鎖させなければならない」ということだけを強調し、これまで名護市への基地建設を容認してきた現知事。それに対して、人口の少ないところにいやなものを押し付け、弱いものいじめをするのではなく、米軍基地の被害は沖縄のどこにも要らない、と言ってきた伊波洋一元宜野湾市長。沖縄がひとつになるために、私たちがいま選択しなくてはならないのは誰か、それは明らかではないでしょうか。

伊波氏は宜野湾市長として、市税を18億円も増やしたことに象徴されるように、経済の活性化に成功しました。そしてその税収の増加を、市民の暮らしに直接還元。医療費助成の増額や国保税の減免を実現しました。他にも地元の企業を大事にし、入札資格のない中小企業でも小規模工事契約に参加できる登録制度をはじめするなど、これまでの実績を見ても、大きなリーダーシップで沖縄県を引っ張って行くことが期待されます。

市長として3度も訪米し、米連邦議会での「普天間基地撤去勧告決議採決」につなげるなど、基地問題についても、「国任せ」ではなく、沖縄県民の意思を日米両政府にしっかり伝え、自ら問題の解決を図るよう行動して行くとしています。

稲嶺進市長が誕生し、また、市長を支える議員が多数派となった名護市から、今度は伊波洋一県知事を誕生させるためのビックウェーブをつくって行きましょう。ホップ・ステップが成功し、あとは最後のジャンプです。名護市から始まった新しい大きな歴史の変化を、伊波県知事とともに沖縄から日本全土に広げていくことができる、私たちは今その大きなチャンスの前に立っているのだと思います。名護市民の意思表示をしっかりと、あたらしい沖縄を目指しましょう。

伊波洋一後援会事務所 那覇市古島1-14-6 (教育福祉会館) Tel.098-884-1841 Fax.098-882-1855  
なお、東恩納たくま城事務所は伊波洋一を応援する「市民ネットの会」の事務所としました。  
名護市城2丁目14番地 Tel.0980-53-2917 ぜひお立ち寄りください。



## 10月名護市議会での東恩納琢磨の質問

### ☆自転車通勤(エコ通勤)を奨励してはいかがでしょうか？

に対して名護市長は自らも自転車通勤を心がけていること、街づくりを考える上で自転車からの視点はとても重要だという考えを示し、私の提案を前向きに検討したいと回答しました。

### ☆名護市の豊かで唯一無二の自然を守るためのメッセージをCOP 10 参加者に向けて発信すべきではないでしょうか？

に答えるかたちで名護市から COP10 へのメッセージが出されました。

### ☆ 環境省は9月30日、大浦川が国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約の基準を満たしていると発表しました。市として大浦川の条約への登録に向けてどのような取り組みを具体的に考えていますか？

に対しては、市長自らが大浦川、大浦湾（アオサンゴ）について視察したいと解答しました。

すべての質問と詳細については東恩納たくまホームページまたは名護市議会のホームページをご覧ください。

11月3日、名護市長は答弁どおり、大浦湾のアオサンゴを視察しました。

